※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	（学）篆刻・刻字	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前半は篆刻を学びます。姓名でゴム印、石印（１．２センチ角・２センチ角）を制作します。
後半は木材板に４字句を彫刻刀で彫ります。また工夫を凝らして着色もします。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。

（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主体的かつ創造的な書道の表現をするために必要な知識や技能を身につけ、効果的に表現方法を工夫している。	書のよさや美しさを感じ取り感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現している。	書作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書道文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半 後半	篆刻	消しゴム小印制作 4分朱分印制作 7分白分印制作 字調べ 印稿作り 布字 奏刀 押印 印譜作成	a: 材料や用具の特性を理解し、篆書を基に豊かに表現している。 b:刀法を理解し、表現しようとしている。押印を丁寧にして工夫することにより美しさを感じ取っている。 c: 表現意図などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
	刻字	四字句選択 草稿作成 刻字の文字の表現 彫刻刀による制作 着色 相互鑑賞	a:筆圧の変化やカスレなど、筆文字の中で刻字に適した表現を工夫している。 b:木材板を刻す技法を理解し、表現しようとしている。着色の技法について理解し、効果的に表現しようとしている。 c: 表現意図などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度